

夕刊 新報

發行日三十二月八 定額一圓 零售五分

小唄雜考

赤井村 荒 越 彦

先づ「これを募集した最

町園木實追悼歌

池上 富司

朝露の雫なく散りし黒髪

かへらざる人をしのびて訪ひ

海はゆれやますけり

○秋來りて木の實を結ぶ

○春と散りゆく

○あからぬ中に一本糸秋

○夏虫のたぐひは鳴き

○七月の空は蒼蒼

○曉方の風にかほりて

○重なりて悲しみはらむ

○春遠く一つのいのち

○若きまじし

○み山邊の奥津城

○さけのみてふと

○遙かなる七月の海

○東俗の雲にかくれし

○即ち炭鑛小唄

○一人のそれ自身

○可く、海へ、山へと

○人達で込み合ふ

○五分の列車が

○車中、満員なら

○星君と向き合

○先月來遊な

○の噂に花が

○ルに入ると

○吹き入る煤

○行にトンネル

○のぼる星君

○も、對星君

○見ゆる、句

○へ馳つた

○植田から

○痛い

○た、やがて

○た、やがて

○た、やがて

○た、やがて

○た、やがて

○た、やがて

拈華微笑 今後二年程見ら

天井知らず、底 冠りの選

無しの、何でもよ 近き

しい石炭景氣 うに出揃

げふも一族雨ごもり

雨の日は 八百屋は御用

さした傘は どうかで

△旅客荒木又右工門

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設

△帝室制度調査局設

△皇室制度調査局設



剣火無情

津屋 義人作

菅野 祐作

白河の關(十)

結城の玉五郎が

の加勢は腕捕

こうなつては

居る對星君

相手しにや

運動の選手

もう其時

命だけは

皆まで開

「判つた

は誰か判

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

「判つた

刀劍研磨

白鞘調製

刀劍把卷

刀劍買入

翠光齋

主船生四郎

日本石油株式會社特約店

關影商店平支店

本店水戸線下館前

茨城縣土浦市

電話五五五

電話五五五

吸入用酸素

純度99%

關内藥局

電話四〇番

電話四〇番

電話四〇番

婦人子供ニモ簡易ニ修

得出来る新時代的

坂本メリヤス工場

電話六八五番

電話六八五番

電話六八五番

貨切御用命

セヒ三井自動車部

電話六八五番

電話六八五番

電話六八五番

電話六八五番

淋薬界の最高權威

無効返金

別府皮膚藥

金三十錢

金三十錢

金三十錢

花柳病科

井阪醫院

平町田町

電話五五九番

電話五五九番

電話五五九番

坑夫募集

坑夫百名

探炭技術者

福島炭鑛

電話五五九番

電話五五九番

